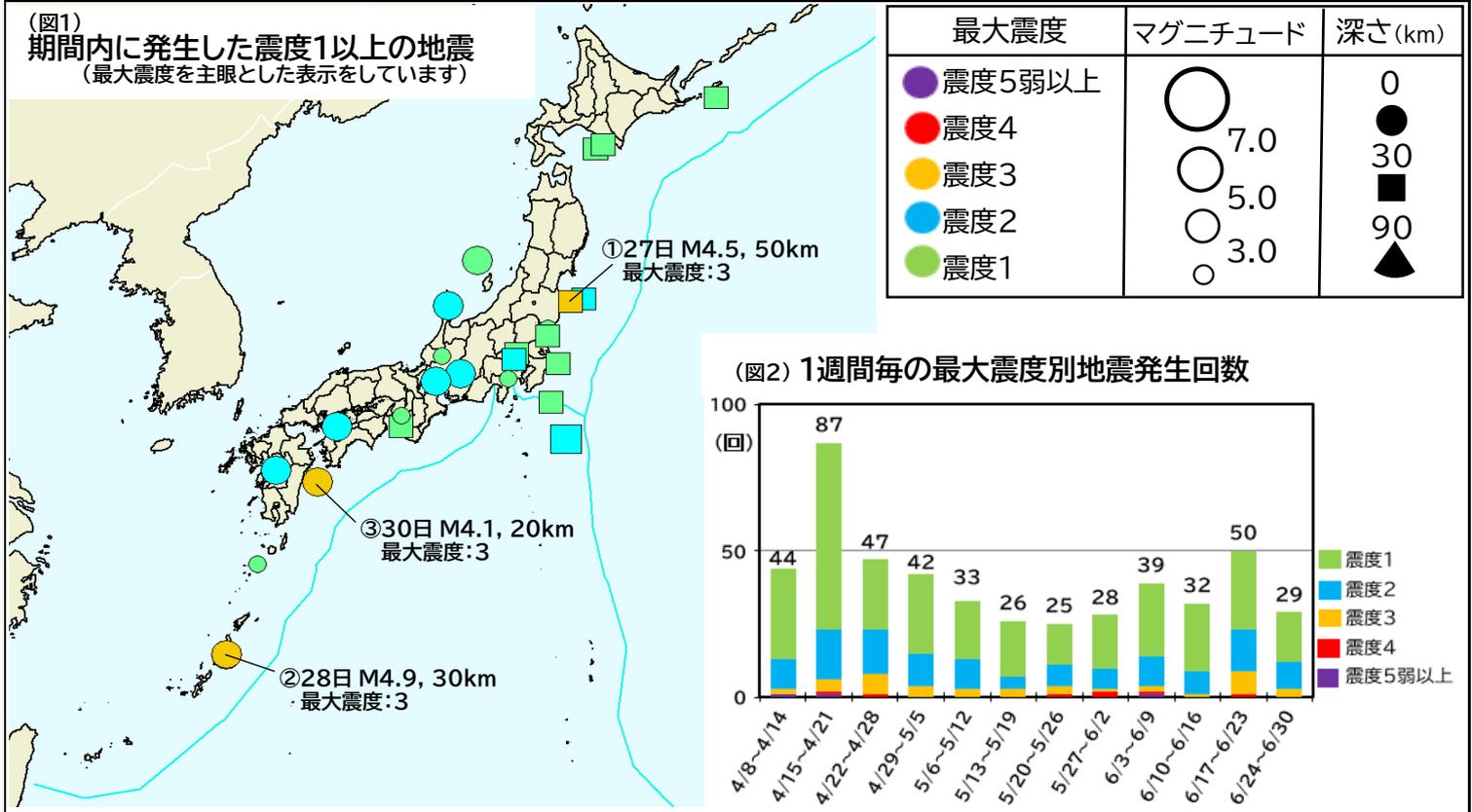


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1, 図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が29回発生。最大震度は3。■
- ①6月27日18時45分に福島県沖で発生した地震(M4.5、深さ50km)により、福島県檜葉町など浜通り地方で震度3を観測したほか、岩手県から茨城県にかけて震度2~1を観測。
- ②6月28日04時27分に沖縄本島近海で発生した地震(M4.9、深さ30km)により、鹿児島県与論町で震度3を観測したほか、鹿児島県と沖縄県で震度2~1を観測。
- ③6月30日19時38分に日向灘で発生した地震(M4.1、深さ20km:速報値)により、宮崎県川南町で震度3を観測したほか、高知県から九州地方にかけて震度2~1を観測。

トピックス

- 能登半島地震から半年 ■
- ・本年1月1日に発生した能登半島地震の発生から7月1日で半年となりました。これまでの地震活動を図3と図4で振り返ってみます。
- ・この地域の地震活動は2020年12月から活発になり、本年1月1日の地震が発生するまでに震度1以上を観測する地震が506回、震度5弱以上を観測する地震が5回発生していました。このうち最大の地震は昨年5月5日に珠洲市で震度6強を観測した地震(M6.5)でした。
- ・これら昨年までの地震活動は能登半島北東部の狭い範囲での活動でした(図3の橙破線内)。
- ・本年1月1日の地震発生後は能登半島北部に沿って北東-南西に延びる150km程度の広い範囲で発生しています。
- ・この付近の海底には複数の活断層が確認されており(図3の青破線)、この活断層が今回の地震に関連した可能性が高いと考えられています。
- ・6月3日には珠洲市と輪島市で震度5強を観測する地震が発生するなど、6月に入っても震度1以上が観測された地震は35回発生しています。
- ・地震発生数は図4のとおり増減を繰り返しながら時間経過とともに少なくなっていますが、今でも北東-南西に延びる150km程度の広い範囲で発生しており、引き続き活発な活動が続いています。
- ・2004(H16)年の新潟県中越地震などのように、地震発生から数か月経って、地震の発生数が減少している中で大きな震度となる地震が発生したこともあります。

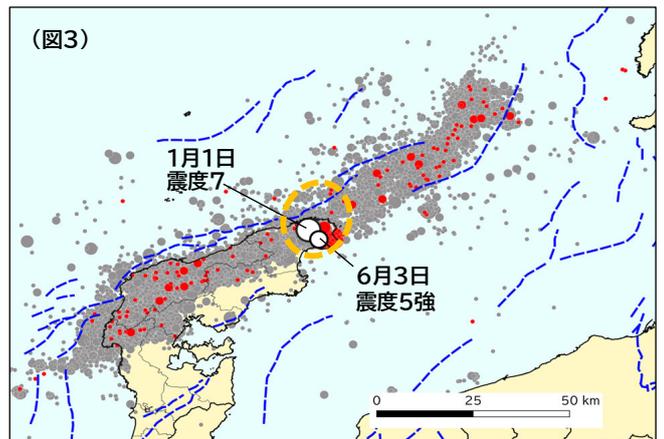


図3: 震央分布図 2024/1/1 -- 2024/6/30 M $\geq$ 2.0  
赤丸: 2024年6月に発生した地震  
灰丸: 赤丸以前に発生した地震  
橙破線: 2020年12月~2023年12月31日の震央の範囲  
青破線: 活断層(出典: 産業技術総合研究所資料)

